

【注意事項】

e² studio Code Generator プラグイン,
RZ コード生成支援ツール AP4

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. 旧バージョンで作成した AP4 プロジェクトを開く場合の注意事項

1. 旧バージョンで作成した AP4 プロジェクトを開く場合の注意事項

1.1 該当製品

- e² studio V5.1.0.017(Code Generator プラグイン V2.4.0)以降
- RZ コード生成支援ツール AP4 V1.03.00 以降

1.2 該当デバイス

- RZ ファミリ : RZ/T1 グループ

1.3 内容

以下の旧バージョン製品で作成した AP4 プロジェクトを 1.1 項の該当製品で開く場合、コード生成のバージョン間における互換性が保たれません。そのため、r_cg_port.c にある関数 void R_PORT_Create()が正しく生成されない場合があります。

- 旧バージョン製品
 - e² studio V4.0.0.026 (Code Generator プラグイン V2.0.0) から e² studio V5.0.0.043 (Code Generator プラグイン V2.3.0)まで
 - RZ コード生成支援ツール AP4 V1.00.00 から V1.02.00 まで

1.4 発生条件

[クロック発生回路]の[デバッグインタフェース設定]において、デバッグインタフェース設定を[JTAG]または[SWD]のいずれかを選択し、かつ[I/O ポート]で入出力設定を行った AP4 プロジェクトで発生します。

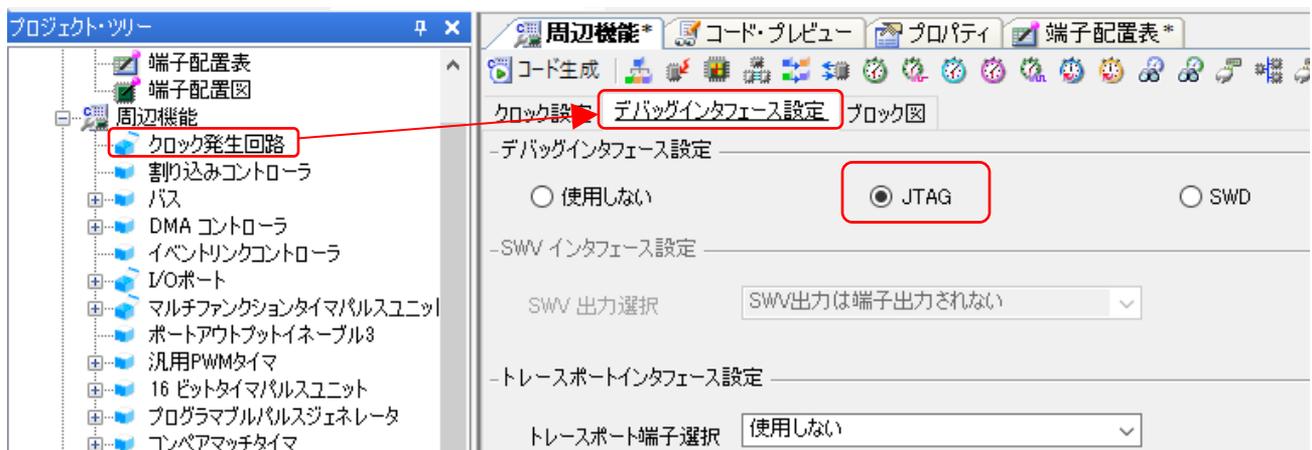


図 1 JTAG を選択した場合の画面例

1.5 回避策

1.3 項に記載した旧バージョン製品で作成した AP4 プロジェクトを 1.1 項の該当製品で開く場合は、以下の手順で行ってください。

(1) 1.3 項の旧バージョン製品使用時

[クロック発生回路]の[デバッグインタフェース設定]タブをクリックして、デバッグインタフェースで[使用しない]を選択し AP4 プロジェクトを保存します。

(2) 1.1 項の該当製品使用時

(1)で保存した AP4 プロジェクトを開き、[クロック発生回路]の[デバッグインタフェース設定]タブをクリックして、デバッグインタフェースで[JTAG]または[SWD]を選択してください。

1.6 恒久対策

改修の予定はありません。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2017.01.16	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先

<http://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。